

令和5年度第1回さぬき市男女共同参画推進協議会 会議要旨

- 1 日 時 令和5年5月26日（金）14：00～15：50
- 2 場 所 さぬき市役所3階会議室
- 3 出席者 【委員】 石田委員 柿木委員 樫原委員 金子委員 川地委員
黒澤委員 小松委員 高田委員 多田委員 筒井委員
【事務局】 山下市民部長 山田課長 田村副主幹 山本主任主事
株式会社 ぎょうせい（委託業者）
- 4 傍聴者 なし
- 5 会議次第
- 1 開 会
 - 2 会長あいさつ
 - 3 議 事
 - (1) 令和5年度事業概要について
 - (2) 第3次男女共同参画プランについて
 - (3) 男女共同参画推進活動事業（市民企画事業）について
 - (4) 男女共同参画週間事業について
 - (5) その他
 - 4 閉 会
- 6 配布資料

- 資料1 令和5年度 男女共同参画推進事業予定
資料2 第3次さぬき市男女共同参画プラン…スケジュール更新案
資料3 数字で見るさぬき市の男女共同参画を取り巻く現状
資料4 アンケート結果から読み取れる現状と課題
資料5 第3次さぬき市男女共同参画プラン策定に向けて
資料5-2 第2次さぬき市男女共同参画プラン（施策取組）
資料6 男女共同参画に関する意見聴取シート
資料7 男女共同参画推進活動事業（市民企画）リーフレット
資料8 男女共同参画週間事業リーフレット ほか

7 議事の経過及び発言要旨

| 発言者 | 意見概要 |
|-----|--|
| 事務局 | < 開 会 > (14:00) 本日は、ご多忙の中、ご出席いただきありがとうございます。只今から令和5年度第1回さぬき市男女共同参画推進協議会を開会します。はじめに、さぬき市男女共同参画推進協議会 黒澤会長からごあいさついただきます。 |

| | |
|-----|--|
| | <p><会長あいさつ></p> |
| 事務局 | <p>会議の進行はさぬき市男女共同参画推進協議会規則に基づき黒澤会長にお願いいたします。</p> |
| 会長 | <p>まず、会議の公開についてです。本会議は「附属機関等の委員の構成及び会議の公開に関する指針」に基づき「原則公開」となっています。非公開の案件がない限り公開とすることとします。まず、傍聴申請について人権推進課長から報告してください。</p> |
| 事務局 | <p>現在のところ、傍聴希望はありません。</p> |
| 会長 | <p>会議途中で傍聴希望があった場合には、随時許可することとします。 はじめに、本日の会議についてですが、おおむね2時間程度を予定しております。時間どおりの進行にご協力をお願いします。また議事（1）において説明を聞くため、第3次さぬき市男女共同参画プラン策定支援業務の委託事業者「株式会社ぎょうせい四国支社」の担当者に出席を求めています。では、議事（1）令和5年度事業概要について、事務局から説明をお願いします。</p> |
| 事務局 | <p><資料1、2説明></p> |
| 会長 | <p>今の説明について質問はありませんか。</p> |
| 委員 | <p><質疑無し></p> |
| 会長 | <p>では、議事（2）第3次男女共同参画プランについて、事務局から説明をお願いします。</p> |
| 事務局 | <p><資料3、4、5説明></p> |
| 会長 | <p>今の説明について質問や意見はありませんか。</p> |
| 委員 | <p>資料3の6ページでは、さぬき市の就業率について、国や県との比較が出ているが、そのほかはさぬき市のみデータとなっている。ほかでもそういったデータはあるのか。</p> |
| 事務局 | <p>あります。資料に国勢調査と記載しているものは、国や県、他の市町と比較することができます。</p> |
| 委員 | <p>出生率、就業率どちらのポイントも高い自治体は、子育て支援等が活発だという話を聞いたことがある。出生率をどう判断するかというのはあると思うが、気になった。</p> |
| 事務局 | <p>資料3の2ページに人口動態を記載し、そこに出生数を記載しています。さぬき市は出生数よりも死亡者数が多いため、自然動態がマイナスとなっています。また転入と転出をみると、転出の方が多いため、社会動態もマイナスとなっています。自然動態と社会動態を足したものが人口動態、人口の動きとなっています。</p> |
| 委員 | <p>女性の人数で出生数は変わると思うので、出生率の方が分かりやすいと思う。就</p> |

| | |
|-----|---|
| | <p>業率は県や国と比べて高い。就業率は高いが出生率は低い、子どもを産む世帯が増えていないなどというデータを見てみたいと思った。</p> |
| 事務局 | <p>出生率が下がっているのは、女性の就業率が10年前より高くなっていることに関係しているのでしょうか。働いていても子どもを産みやすい仕組みや環境を作るべきではないかということだと思います。</p> |
| 委員 | <p>全体からみると評価されているが、実際はもう少し改善しないといけないのか、もっと力を入れないといけないのかがわかるデータをみたい。</p> |
| 事務局 | <p>国や県と比較すべき箇所があれば、入れたいと思います。</p> |
| 委員 | <p>資料4の6ページには、教職員・市職員の大半が「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という考えに否定的で、その割合が市民や中学生を大きく上回っているとある。なぜ中学生の割合が低いのか。中学生は教育を受けておりもっと平等意識を持っているのではないかと思ったので、疑問に感じた。</p> |
| 事務局 | <p>「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」ことについて「そう思わない」割合が、教職員は7割、市職員は7割以上、市民は約半数、中学生は市民よりも低い結果となっています。中学生は「そう思う」割合が高く、5人に1人となっています。このデータだけの理由付けは難しいのですが、市民と中学生では大きな差がないので「そう思う」市民の家庭で育った子どもがそういう意識を持つというのが両者に大きな差がない根拠になるかと思っています。</p> |
| 委員 | <p>資料3の11ページにある、ひとり親家庭の状況について、母子世帯に比べて少ないものの父子世帯が少し増えている。主要施策をみると、母子に対する保健の充実はあるが父子にはない。父子世帯も大変なことがあると思うが、どうしているのか。また、中学生にも関係のある、いじめやDVについて、被害者支援は当然あると思うが、加害者への支援やアプローチも必要ではないかと思う。次に育児休業等について、市は取得を呼びかけているが、アンケート回答者においては、男性職員で取得した職員がいない。他市では市長等が進んで取得し、市民に勧めている。代替要員がいないと難しいなどいろいろな課題を克服しないといけないが、言うだけに留まっていないだろうか。今や少子化となり、離婚率も高い。あるアンケートでは、20代で結婚を希望する人が半分以下だった。性の多様性と少子化対策の関係がわかりにくいものになっていないか。</p> |
| 事務局 | <p>4つ質問がありましたが、会議で議論した方がよい内容があると思います。ひとり親家庭については、父子世帯の母数が少ないので、1世帯増えると大きな差が出てきます。およそ40世帯前後で推移しているとみてもらえたらと思います。第2次さぬき市男女共同参画プラン（以下「現行プラン」）には「ひとり親家庭の支援」が記載され、母子・父子自立支援員の配置や「さぬき市子ども・子育て支援計画」に基づいた様々な総合的な支援があります。第3次男女共同参画プランでは、子ども・子育て支援計画との連携や母子・父子自立支援員の配置だけでなく、もう少し進んだ取組が必要なのではないかといったご意見だったと思います。また、いじめやDVの加害者への支援、アプローチをどうするのかについてです。ご指摘のとおり被害者支援はありますが、加害者には触れられていません。現行プランでは、被害者支援については他の自治体では見かけない相談のフロー図まで記されており、さぬき市が積極的に取り組んでいることが伺えます。加害者の心のケア等、今後加害者に対して必要なことも記載していくべきではないかと思いますので、今後の議論の対象にしてもらえたらと思います。</p> <p>市職員アンケートにおける育児休業取得は、男性職員0パーセント、女性職員50</p> |

| | |
|-----|---|
| | <p>パーセントでした。市民のお手本になるような存在であるべきだというのは、どこの自治体でもいわれるので、積極的に取得できる環境づくりを市の内部でもやっていくことが必要という課題を指摘されたと思います。少子化対策と性の多様性については、人権の幅広い問題になります。また意見を伺いたいと思います。</p> |
| 委員 | <p>資料3の7ページ男性の就業率について、未婚男性の就業率がかなり低い。これは全国的な傾向なのか。</p> |
| 事務局 | <p>未婚者は増えていますが、母数が多くないため、このような結果となりました。東京をはじめとする大都市圏では少し違った感じですが、地方都市は未婚者の就業率が低い傾向にあります。</p> |
| 委員 | <p>男性のひきこもりの課題と関係あるのかと思い、質問した。</p> |
| 委員 | <p>資料4の3ページ「男女の性別差や役割分担等について」のグラフは、回答者全体の数が721となっているが、男女の数を足すと711で、10人少ない。なぜか。</p> |
| 事務局 | <p>アンケートで性別を尋ねる設問がありますが、そこで無回答だった10人です。分析の方法がないため、統計的に外しています。</p> |
| 会長 | <p>ここからは意見交換を行いたいと思います。現行プランを参考に、必要だと思われる観点や文言、変更点等について、意見ををお願いします。</p> |
| 委員 | <p>現行プラン40ページ基本目標3基本方針6について、最初の文章の5行目に「暴力による被害者や関係者への相談・支援体制の充実に取り組みます。」とあるが、先ほど委員が発言されたように、被害者だけでなく加害者の視点を盛り込むことが必要だ。そして、3つの主要施策の中の「相談支援の充実、施策名：女性相談の充実」「被害者への支援」については「被害者への支援」「加害者への支援」と分けた方がよいのではないか。女性被害者が多いため、被害者への支援に女性相談を内包する形だ。DV・暴力は大人が子どもに、男性が女性にといったケースがあるが、加害者は「しつけ」「そこまでやっていない」など、悪いことだと認識していない。認識、気付きが大事で、そこを改善しないと被害はなかなかなくなるので、付け加えてもらいたいと思う。</p> |
| 委員 | <p>現行プラン38ページ基本目標2基本方針4の主要施策に「働きやすい職場環境整備への理解促進」とあるが、これは仕事に従事している前提での施策のように感じる。私の勤める会社では、例えば社員どうして結婚した夫婦の一人が海外駐在するため、もう一人が仕事を辞めざるを得なかった場合など、仕事を辞めた理由によっては復職できる制度を5年前から採用している。このように事情があって希望通りの職場で働けない、復職できないといった問題もあると思う。本来は正社員になりたいが、現在パートをしているなどといったところを、企業と連携してやっていくなどの視点を入れたらよいと思った。</p> |
| 会長 | <p>今、基本目標2基本方針4「仕事と生活の調和」、基本目標3基本方針6「あらゆる暴力の根絶」について意見が出されましたが、先ほど事務局の説明の中で出てきた基本目標1基本方針1「人権の尊重と男女共同参画の意識づくり」や基本方針2「学びの場における男女共同参画の推進」、基本目標2基本方針5「地域社会における男女共同参画の推進」についてはどうでしょうか。</p> |
| 委員 | <p>基本目標2基本方針5「地域社会における男女共同参画の推進」について、今、地震が増えているので、防災をもう少しピックアップした方がよいと思った。さぬ</p> |

| | |
|----|--|
| 委員 | <p>き市には危機管理課があるが、女性の職員がいないことを課題だと思っている。先日起きた能登地方の地震災害に関する写真を見ると、一人ずつのプライベートテントや段ボールベッドがあった。男女共同参画でも防災に力を入れるべきではないか。また、基本目標1基本方針1「人権の尊重と男女共同参画の意識づくり」について、人権の尊重と男女共同参画の意識は根本的には一緒だと思うが、ちょっと違うようなので、個人的には別にしておいた方がよいと思う。</p> <p>私には、幼稚園年長と高校3年生の子どもがいる。基本目標2基本方針4「仕事と生活の調和」の主要施策2にある「男性の参画促進」について、本当に参画してくれたらありがたいと感じる。取組内容の「男性料理教室の実施」は、男性や女性が望んでいるのか疑問を感じる一方、市がやれる範囲となるところなのかとも思う。もう少し男性のニーズを聞く機会を作ってもらえたらと正直思っている。</p> |
| 委員 | <p>最も気になるのは、広報啓発だ。さぬき市に限らず人権、男女共同参画の広報活動をいろいろ行っても、市民に響いていない。効果的な方法があるとよい。男女共同参画という言葉自体が固く難しく、近寄りがたいものだというのがある。性別に関わらず皆が幸せな暮らしができる社会をめざすことなので、そういう視点でわかりやすく、かみ砕いたものがないかと思う。中学生に「男は仕事、女は家庭」という意識があるのは、自分の家庭や親を見てそう思う部分や、まだ意識が低くて深く考えていない部分があると思う。最近、家事や育児を男女半々でやっている若い夫婦の家庭も見受けられる。そういう状況が続けばよいと思うが、古い考えを持った方が「男は洗濯をしなくていい」などと言うので、それが嫌になり、さぬき市を出て行くというのがある。年配者の意識に若い人の意識が染まっていくところを何とかしないといけないとも思う。若い夫婦が家事や育児で男女共同参画を実現していく、それが当たり前になっていかないといけないが、親の姿を見て子が育っていくことを考えると、特に保育所や幼稚園の保護者に重点的に啓発していけば、子どもが大きくなっても、家事・育児の男女共同参画が続いていくような気がする。</p> |
| 会長 | <p>基本目標1基本方針1「人権の尊重と男女共同参画の意識づくり」の主要施策2にある「男女共同参画についての広報・啓発」の部分ですね。</p> |
| 委員 | <p>「意識を変えよう」というが、アンコンシャス・バイアスの影響は大きい。無意識にそう思い込んでいること、本人が気付いていないことを「それは違う」というのを発信する方がよい。我が家での話だが、自分が食事で使った茶碗を夫がそのまま置いていた。洗うのが大変になるので、私が「お茶碗を水に浸けておいてほしい」と言ったら、夫は気分を害した。友人にそのエピソードを話すと、友人から「水に浸けておくのは当然だ」と言われた。それからは水に浸けてくれるようになった。夫は使い終わった茶碗を水に浸けるのは自分のすることではないと無意識に思っており、妻から言われると「カチン」と来るが、他人から言われると「そうか」と思った、ということだと思う。その経験から、生活の基礎、身近な所を変えていくと、もっと上のこと大きなことも変わっていくのかなと感じた。自分自身も無意識の偏見があるので、少しずつ減らしていきたいと思う。具体的な例を挙げていくと「それはアンコンシャス・バイアスだ」「そうなのか」と分かるのではないか。問いかけを具体的にわかりやすくした方がよいと思った。先ほど、DVの被害者、加害者についての話が出ていたが、アンガーマネジメントの観点からみると、加害者は無意識にやっている場合がある。先生から生徒、親から子どもというように、怒りは上から下へ流れる傾向がある。もともとアンガーマネジメントは、犯罪をした人の更生のための心理トレーニングだった。なぜ怒りが湧き、怒りを向けるかという性質を理解するだけでも、考え方が変わると思うので、加害者側への支援が必要なら、そういうのも一つあると思う。アンガーマネジメントの講座を実施し</p> |

| | |
|----|--|
| | <p>でも、自分は関係ないという人はたくさんいると思う。</p> |
| 委員 | <p>先日の新聞に、国の男女共同参画白書の原案が出ており、見出しに「女性、若手ほど昇進に前向き」とあった。20代の3割余りが将来管理職を希望している。そして古い制度や慣行、会社員の夫と専業主婦の妻が前提の制度や、長時間労働の「昭和モデル」から、全ての人が家庭でも仕事でも活躍できる「令和モデル」の早期実現を訴えた、企業の女性役員登用や男性の育児休業取得、男女間賃金差の解消等で官民が総力を挙げるべきだと訴えたという記事だったので紹介する。</p> |
| 委員 | <p>現行プラン31ページの基本目標1基本方針1主要施策1「人権の尊重と男女共同参画の意識づくり」について、ソフト面に偏っているようにみえるので、そういう書き方はしない方がよいのではないかと。本来ならハード面に意識を持って行きたいが、お金もかかる。意識づくりは大事だが、表に出し過ぎない方がよいのではないかと。主要施策はよいと思う。先ほどの茶碗の話も、水に浸けなくてもよい茶碗の開発など、ハード面で解決するかもしれない。両輪で進めていければと思う。</p> |
| 会長 | <p>意識づくりについて、どういう言葉を充てればよいでしょうか。</p> |
| 委員 | <p>具体的過ぎて主要施策には書きづらいが、例えば「ユニバーサルデザインの設備を増やす」などだ。現行プランは、ソフトに偏っているような気がする。もう少しハード面でできることがないのか、そういうのを生み出すような施策を書いた方がよいと思った。意識づくりに偏ると人に寄り過ぎるので、自分たちはもう少しハード面を考えないといけないというのを入れ込みたい。</p> |
| 委員 | <p>市が立てた男女共同参画プランの相手は市民であり、親であり、子どもだ。そこで家庭でも実践できるよう、例えば身近なイラストが入ったようなもの、子育てプランにある「挨拶をすすんでしよう」「家庭ではこうしてほしい」といったようなものを作成して配ってはどうか。冷蔵庫に貼れるような小さな紙でもよい。それで家で話をして、家庭でやってもらえたらよい。</p> |
| 会長 | <p>プランを策定してから作っていくという話になりますね。</p> |
| 委員 | <p>5年前の策定時、易しいものにした方がよいという発想があったように記憶している。難しい言葉を並べると見る気が起きず、どんなによいことでも聞こうとは思わないので、易しく柔らかくしようということだった。「男女共同参画」という言葉を聞いただけで嫌だ、という人もいる。しかし5年経って、社会の意識もかなり変わってきていると実感している。例えば「LGBT」や「性の多様性」という言葉は5年前には一般の人まで届かなかった。今後5年に向けてのプランには難しい言葉も使えるが、男女共同参画を全く知らない人に向けてはどんな言葉がよいか。普段の生活の中で使える言葉があれば、それが一番使い勝手はよい。それを皆で考えたい。</p> |
| 委員 | <p>5年前から意識が変わっているというのは私も実感している。地域で行っている料理教室には、かつて必死に人を集めないとい誰も来なかった。しかし、担当している長尾地区だけかもしれないが、ここ2、3年、男性の参加者が増えた。別の公民館活動では、今年4月に入ったばかりの男性が多い。2、3年前は考えられなかった。</p> |
| 会長 | <p>ここで意見交換を終了とします。これまでの意見を踏まえ、事務局には引き続き作業を進めてもらいたいと思います。続いて、男女共同参画に関する意見聴取シートについて、事務局から説明をお願いします。</p> |

| | |
|-----|---|
| 事務局 | <資料6説明> |
| 会長 | 今の説明に質問などはありませんか。 |
| 委員 | シートはデータでもらえるか。 |
| 事務局 | ご希望の方にはデータをお送りします。 |
| 会長 | 今日の会議で性の多様性の話等できなかつたものもあるので、シートに意見を書いていただきたいと思います。続いて、議事（3）男女共同参画推進活動事業（市民企画事業）について、議事（4）男女共同参画週間事業について、事務局から説明をお願いします。 |
| 事務局 | <資料7、8説明> |
| 会長 | 今の説明に対し、質問などはありませんか。ご意見のある方は挙手ください。 |
| 委員 | <質疑無し> |
| 会長 | 次に、議事（5）「その他」について、事務局は何かありますか。 |
| 事務局 | 次回協議会についてです。次回は、7月10日の開催を予定しております。ご多忙とは存じますが、積極的なご参加をお願いいたします。 |
| 会長 | 事務局から説明がありました。何か質問などはありませんか。 |
| 委員 | <質疑無し> |
| 会長 | 本年度の協議会はこれで終了です。意見聴取について、ぜひご協力をお願いいたします。また、6月の週間事業についても、都合のつく方はぜひご参加ください。最後に山下市民部長からあいさつをお願いします。 |
| 会長 | <市民部長あいさつ> 本日も活発な議論をありがとうございました。 以上で、令和5年度第1回さぬき市男女共同参画推進協議会を閉会します。お疲れ様でした。 |
| | < 閉 会 > (1 5 : 5 0) |